

日韓介護問題シンポジウム

テーマ : 高齢・格差化が進む日韓両国の介護課題

日本では 2000 年から、韓国では 2008 年から、それぞれ介護保険制度・老人長期療養保険制度がスタートしています。両国ともに世界で最も高齢社会が進んだ国であり、少子高齢化に歯止めが効かぬ状況において、公的な介護保障制度の役割は益々重要になってきます。しかし、要介護者数が増えることにより、保険料は増額しており、日本では自己負担割合も増えています。他方、サービスの利用控えも顕著となっており、高齢者の所得の差によって、サービスが十分に受けられない状況が生じています。

本シンポジウムでは、高齢・格差化が進行する日韓両国における介護問題について、研究・実践の両面から現状及び課題について議論を深めていきたい。

セッション1 高齢者介護の現場はどうなっているのか。(現状と課題)

日本の現状 森山千賀子(白梅学園大学) 報告(30分)

韓国の現状 沈明淑(成山老人福祉センター施設長)報告(30分)

議論(20分)

休憩(15分)

セッション2 公的介護保障制度はどうなっているのか。(現状と課題)

老人長期療養保険制度の現状 崔太子(成山老人福祉センター代表)

介護保険制度の現状 井口克郎(神戸大学)

報告・議論はセッション1と同じ。

司会 森山治(金沢大学) まとめ(5分)

プロフィール

- ・崔太子(チェテエジャ) 成山老人福祉センター代表
日本社会事業大学大学院 社会福祉研究科博士後期課程修了 博士(社会福祉学)
漢陽大学校非常勤講師
- ・沈明淑(シムミンソク) 成山老人福祉センター施設長
日本社会事業大学大学院 社会福祉研究科博士前期課程修了 修士
- ・森山千賀子 白梅学園大学子ども学部教授
東洋大学大学院社会学研究科福祉社会システム専攻終了 修士
社会福祉法人サンフレンズ理事
一般社団法人地域ケア総合評価機構代表理事
- ・井口克郎 神戸大学大学院人間環境学専攻社会環境論分野准教授
金沢大学大学院人間社会環境研究科博士後期課程修了 博士(経済学)
- ・森山治 金沢大学大学院人間社会環境研究科教授
立正大学文学研究科社会学専攻修士課程修了 修士

■日時 2017年9月10日(日)16時～19時(受付15時30分)事前予約なし。

■会費 無料

■会場 四高記念館 多目的室3

■主催 介護労働研究会(科研「社会的包摂を視点とした介護労働力の政策化とキャリア形成に向けての国際比較研究」)

■共催 金沢大学地域政策研究センター

■連絡先 金沢大学 森山研究室(金沢大学人間社会環境研究科／地域創造学類)

Eメール moriyama@ed.kanazawa-u.ac.jp Fax.076-264-5518